

科 目 名	医療機能薬学特論Ⅳ				
担当教員名	教授 渡邊 法男 教授 中村 暢彦	単位数	2 (90分授業15回)	配当学期	秋学期
講義の概要	本講義では、症例報告と臨床研究論文の作成に必要な思考過程を体系的に学ぶ。CAREガイドラインに基づく症例の構成、時系列整理、臨床データの解釈、図表作成、考察のロジック構築に加え、PICOによる文献の批判的検討を行う。最終的に、症例報告および臨床研究論文を適切に構築・提示する能力を習得する。				
準備学習 (予習・復習など)	受講前に配布するシラバス記載関連資料を予習すること。講義内容、配付プリントをレポートにまとめ、復習すること。各回の講義前に、およそ120分を目安として予習・復習をすること。				
講義の内容・ スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症例報告とは — 目的・意義・倫理 2. CAREガイドライン — 症例報告の構成 3. 症例提示① — 時系列整理 4. 症例提示② — 臨床データの読み解き 5. 症例提示③ — 図表・検査値まとめの作成 6. 考察① — ロジック構築と文献比較 7. 考察② — Draft 作成と推敲 8. 中間まとめ 9. 臨床研究論文の読み方とPICOによる理解 10. 研究目的および研究方法の妥当性 11. 研究結果の解釈および研究の限界 12. 臨床研究論文の提示① 13. 臨床研究論文の提示② 14. 臨床研究論文の提示③ 15. まとめ 				
評価方法 (基準等)	レポート (50%)、口頭による質疑応答 (50%)				
教 材	配布資料				